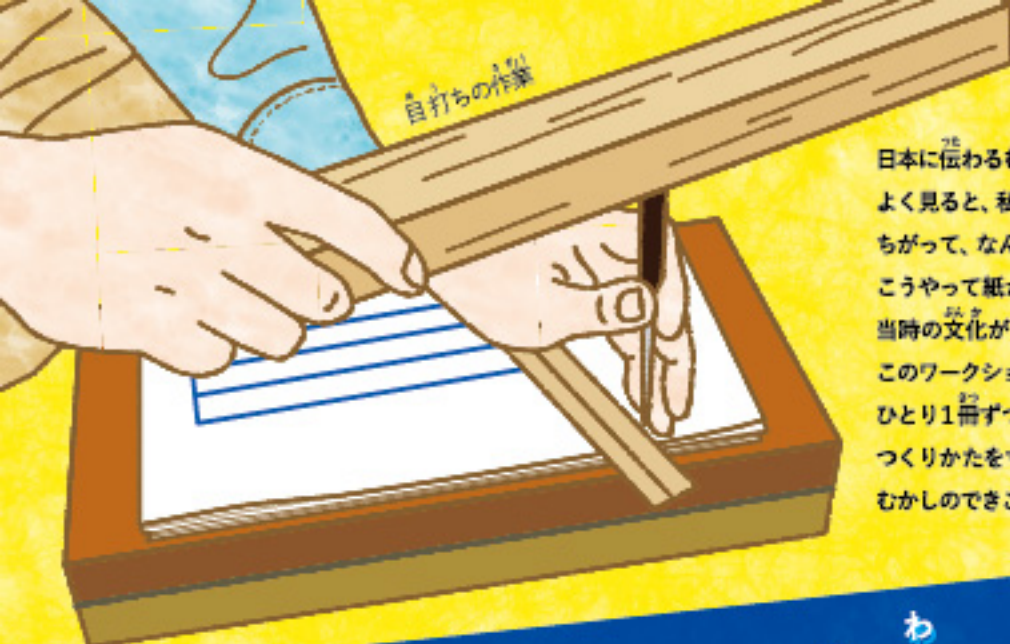




日本に伝わるむかしの本のつくり方「和綴じ」。
よく見ると、私たちがふだん目にする絵本や教科書とはちがって、なんだか紙が糸で縫われているみたいで面白い！
こうやって紙が本になって、むかし起こったできごとや当時の文化が伝えられてきたんだね。
このワークショップでは、むかしの本の修復方法に触れながら、ひとり1冊ずつ和綴じ本をつくります。
つくりかたをマスターできたら、むかしのできごとを伝えられる人になれるかも？！

修復とその周辺「和綴じ」 —つくってみよう！ にほんのほん—

2025年10月4日土 13:30-15:30

川崎市生活文化会館てくのかわさき 第1・第2研修室

対象 小学3年生以上とその保護者

参加費 ひとり300円

主催 川崎市市民ミュージアム

事前申込制



修復とその周辺「和綴じ」

—つくってみよう！ にほんのほん—

講師の先生から

宮内庁書陵部での作業のお話を聞いた後、
紙を綴じる材料のひとつ、紙縫りを作ってみます。

簡単そうに見えて、

切れない紙縫りを作るのは実は難しい！

続いて絹糸を使った和綴じ本の製作にチャレンジ。

実際の修復で使う刷毛や桶など

実物に触れたり、難しい作業の実演を

見たりすることもできます。



講師 プロフィール

三浦 修子

高校生のときに美術館で修復という分野があることを知り、専門学校に入学。授業のなかで日本の伝統的な本づくりや、そこで使われている和紙に触れて興味をいただき、仕事にしたいと思うように。現在、宮内庁書陵部図書課図書寮文庫修補係に勤務。川崎市出身。

※宮内庁書陵部図書課図書寮文庫修補係

【くないちよう しょうりょうぶ としよかとししょうぶんこ しょうはがかり】

皇室に伝わる古い書籍や文書類、または特定歴史公文書（宮内省・宮内庁・宮内庁が明治期から現在までに作成した公文書）などを直したり、本や冊子にしたりする仕事を担当する係

- 日時** 2025年10月4日(土)13:30~15:30 **事前申込制**
- 会場** 川崎市生活文化会館てくのかわさき 第1・第2研修室
- 対象** 小学3年生以上とその保護者
- 参加費** ひとり300円(当日現金のみ)
※保護者の方を含め、ひとり1冊ずつ作ります
- 定員** 30名
- 申込期間** 9月4日(木)10:00~9月22日(月)16:00 ※1組4名まで応募可
- 申込方法** 川崎市市民ミュージアムの Web サイトのイベントページから

<https://www.kawasaki-museum.jp/event/32178/>

※応募者多数の場合は抽選

※当選者のみに9月25日(木)までにメールでお知らせします

糊塗しの道具



会場案内 川崎市生活文化会館てくのかわさき 第1・第2研修室

〒213-0001
神奈川県川崎市高津区溝口 1-6-10
JR 南武線「武蔵溝ノ口駅」北口、
東急田園都市線「溝の口駅」より 徒歩 5 分

打ち刷毛



【主催・お問い合わせ】

川崎市市民ミュージアム

TEL: 044-712-2800 (8:30-17:15, 土日祝を除く) Mail: edu_kcm@kawasaki-museum.com



新たなミュージアムが開館するまで
市内の様々な施設やオンライン等で
アウトリーチ形式の活動をしています。

市民ミュージアム IN ACTION